

# アーツマネジメント講座 2017

2017年 6月 ▶ 7月

沖縄の芸術を世界へ  
世界の芸術を沖縄へ  
文化芸術を通して、  
人と人、地域をつなぐ

会場：沖縄県産業支援センター(那覇市宇小祿1831番地1)  
那覇市IT創造館(那覇市銘苅2-3-6)

主催：沖縄県（アーツマネージャー育成事業）  
事務局：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕  
協力：公益財団法人沖縄県文化振興会／一般社団法人沖縄県芸能関連協議会

沖縄には、組踊、琉球舞踊、沖縄芝居など固有の芸能から音楽、ダンスなどポップカルチャーまで、豊かな文化資源があります。これらを生かし、地域の活性化につなげるとともに、観光産業の資源としての活用も考えていくことが、県の重要な施策のひとつとなっています。

文化芸術活動を継続し、さらに活性化していくためには、運営面から支える人材が必要不可欠です。文化芸術団体、劇場・ホール、文化行政などに関わる方々、そしてこれから文化芸術活動に携わりたいと考えている方々に向けて、「アーツマネジメント講座2017」を開催します。

各分野の第一線で活躍する講師陣の講義と相互の意見交換を通して、アーツマネジメントの基本を学びながら、沖縄における文化芸術活動の展開をともに考えましょう。

参加費無料

(要申込み)



## 講座 01 アーツマネジメント概論——公演活動に不可欠なものは？

沖縄県で音楽やダンス、演劇、伝統芸能などの公演はどのように行われているのでしょうか？公演は演じる人、場所、観客で成り立つものですが、地域や各施設によって異なり、それぞれ特色があります。世界の劇場事情に詳しい講師の視点から、沖縄、日本の状況をみてみましょう。

**日時：6月1日(木) 18:30-20:30 会場：沖縄産業支援センター [MAP 1](#)**

**講師：草加叔也** (空間創造研究所 代表／劇場コンサルタント) 岡山県生まれ。1989年、文化庁芸術家在外研修員として渡英。1995年に劇場コンサルタント事務所創設。劇場計画のコンサルタントとして、国立劇場おきなわ、神奈川芸術劇場はじめ多数の劇場・ホールの整備・改修に関わる。また、ピーター・ブルック、ピナ・バウシュなどの日本公演において技術監督として参加。東京都の東京芸術文化評議会、オリンピック文化プログラム検討部会、ホール・劇場等問題調査部会などを務める。

## 講座 02 文化政策概論——文化政策とひとつづくり・地域づくり

文化事業と文化政策はどのように関係しているのでしょうか？また、アーツマネジメントの究極の目的は何でしょうか。国内外の事例を紹介しながら、文化政策の役割や文化事業の企画手法、文化施設のあり方や地域との連携などについて、ひとつづくり・地域づくりの観点からともに考えます。

**日時：6月2日(金) 18:30-20:30 会場：沖縄産業支援センター [MAP 1](#)**

**講師：野田邦弘** (鳥取大学地域学部教授／文化政策・創造都市) 横浜市職員として、創造都市政策の策定や横浜トリエンナーレ等を担当し、2004年より現職。文化経済学会日本理事(元理事長)、日本文化政策学会理事、文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)選考委員、鳥取県文化芸術振興審議会議長、大分市アートを活かしたまちづくり推進会議アドバイザー、茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員長など。鳥取でアートプロジェクト「ホスピテイル」に取り組む。主な著書は、「文化政策の展開」(学芸出版社、2014年)、「創造農村」(共著、学芸出版社、2014年)など。

## 講座 03 事業企画——地域、市民、ホールをつなぐ

地域のホールは、立地や設置目的によって特色が異なります。そこで行う事業も、誰のために、どういう企画を、どのように発信するのがいいか、変わってきます。地域の施設をどんな風に活用できるか、劇団と東京・福岡の2つの劇場での多様な経験をもつプロデューサーが、事業企画のポイントを紹介します。

**日時：6月15日(木) 18:30-20:30 会場：沖縄産業支援センター [MAP 1](#)**

**講師：ヲザキ浩実** (久留米シティプラザ副館長／エグゼクティブ・プロデューサー) 民間の劇団勤務などを経て、2011～2015年あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)チーフ・プロデューサー。年間のプログラムのディレクションを行なう一方、演劇・ダンス公演のプロデュース、大学などの教育研究機関との教育プログラムの共同開発などを手がける。2015年より現職。

## 講座 04 観客をつくりだす——企画・宣伝力を磨く

もっとたくさんの人に公演に足を運んでもらいたい！そのために重要なのは、誰に何を届けたいのか、企画を考えて、伝えるチカラです。言葉の選び方、見せ方によって伝わり方が変わってきます。ポスターやチラシなどの広報媒体を客観的に見る力を養いましょう。

**日時：6月26日(月) 18:30-20:30 会場：沖縄産業支援センター [MAP 1](#)**

**講師：伊藤総研** (編集者／ディレクター) 1974年、福岡県生まれ。横浜国立大学卒。雑誌や書籍の企画・編集・執筆のほか、広告キャンペーン、映像、ウェブサイトなどの企画制作、ラジオ構成作家など幅広い分野で活動中。主な仕事に、「小津の入り口。」、「漫オブルータス」(以上「BRUTUS」)、広島県「泣ける!広島県」、「坂本龍一設置音楽展 acync」など。

## 講座 05 道場の経営戦略——実演家から見たマネジメントの重要性

高瀬代表が、先代の創設した俳優のためのアクション・トレーニングセンターを継いで30年余り。現在では、俳優マネジメントに加え、子どもや一般を対象とした教室も開講し、「殺陣(たて)」の裾野を広げています。時代の変化に応じて、どのようなビジョンを持って道場の舵取りをしてきたか、その経営哲学を学びます。

**日時：7月3日(月) 18:30-20:30 会場：沖縄産業支援センター [MAP 1](#)**

**講師：高瀬将嗣** (高瀬道場代表／殺陣師／映画監督) 日活の殺陣師だった父の跡を継ぎ、テレビドラマ「特捜最前線」で殺陣師デビュー。「ピー・ポップ・ハイ・スクール」の技斗(現代劇アクション)が評価され、多くの作品のアクション指導に携わる。監督業へも進出し、劇場映画やVシネマ等40余作品を演出。最新作「昭和最強高校伝 國士参上!!」は全国主要都市の単館で公開された。日本映画監督協会理事。「映画の日」永年勤続功労賞受賞。

## 講座 06 「民俗芸能」を舞台上で上演するには

お祭りや地域の行事で演じられる「民俗芸能」には、地域の願いや人々の祈りが込められています。興行のための「舞台芸能」とは異なり、民俗芸能には独自の価値観や形而上の視座があり、そこに魅力も潜んでいます。この講座では、現地調査から企画・制作・演出まで概観します。

**日時：7月4日(火) 18:30-20:30 会場：沖縄産業支援センター [MAP 1](#)**

**講師：茂木仁史** (国立劇場おきなわ調査養成課長) 1981年より国立劇場で歌舞伎・民俗芸能・雅楽・声明・琉球芸能等の企画・制作・演出を手掛ける。2001年より3年間の基金部担当を経て、04年より国立能楽堂・09年国立演芸場の企画制作。現在、国立劇場おきなわ調査養成課長として、琉球芸能の調査研究と組踊伝承者の養成に携わる。著書に平凡社新書「入門日本の太鼓」ほか。

## 講座 07 会計の基礎知識——継続的な活動に向けて

出演者やスタッフを集め、会場を借り、公演の告知・チケットの販売をする。そのサイクルが重なり、お金の流れを把握して、効果的な手を打つ、経営的な判断も求められるようになります。そうした判断のためには、どんな知識が必要なのでしょうか。継続的な活動のために、会計への理解を深めましょう。

**日時：7月11日(火) 18:30-20:30 会場：沖縄産業支援センター [MAP 1](#)**

**講師：五藤 真** (会計フリーランス) 一橋大学社会学部卒業後、企業勤務を経て、芸術団体の会計に携わる。営利・非営利・自治体、個人・法人形態を問わず、お金回りを通した芸術文化への携わり方を日々思索中。演劇団体リクスルーム、六本木アートナイト実行委員会、一般社団法人PAIR(PARADISE AIR)、あうるすぽっと、その他複数のNPO法人などの会計をサポート。

## 講座 08 公演制作にあたって知っておきたい、契約と著作権の基礎知識

コンサートや舞台など、公演の実施には主催者と出演者の契約が不可欠です。当事者間で日程や業務内容、報酬等を明確にするとともに、公演を収録した音源や映像の利用について事前に決めておくことで、トラブルが回避できます。本講座では契約書のフォーマットを紹介しながら、著作権の基礎知識を解説します。

**日時：7月12日(水) 18:30-20:30 会場：沖縄産業支援センター [MAP 1](#)**

**講師：安藤和宏** (東洋大学法学部教授) 1963年、東京都葛飾区出身。フランクリンビヤース・ローセンター、ワシントン大学ロースクール修了、早稲田大学大学院博士課程修了。高校教諭、複数の音楽出版社、北海道大学大学院特任教授を経て、音楽ビジネスのコンサルティングを行う株式会社セブティマ・レイ代表。専門は知的財産法、音楽ビジネス論。「よくわかる音楽著作権ビジネス」など著書多数。

## riccaricca+fiesta りっかりっか\*フェスタ タイアップ企画

## 講座 09 芸術文化が都市の起爆剤に! 世界のクリエイティブ・シティと日本の取組み

欧米では、1980年代から芸術文化の創造性を活かした事業が数多く進められ、都市としての付加価値を高めることに成功しています。日本でも2007年より、地方自治体が“創造都市(クリエイティブ・シティ)”に取り組むことへの支援を文化庁が開始し、文化政策の中での重要度が増えています。各地の事例を通して、沖縄での展開を考えましょう。

**日時：7月28日(金) 15:00-16:30 会場：那覇市IT創造館 [MAP 2](#)**

**講師：佐々木雅幸** (同志社大学特別客員教授) 1949年生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。京都大学博士(経済学)、金沢大学教授、立命館大学教授、大阪市立大学大学院教授などを経て、現職。文化庁地域文化創生本部主任研究官、創造都市ネットワーク日本の顧問も兼任。主著に「創造都市の経済学」「創造都市への挑戦」、編著に「創造農村」「創造都市への展望」「創造都市と社会包摂」など。

## 講座 10 子どもたちの芸術体験——沖縄でのこれからの可能性を考える

芸術体験は、子どもたちの成長にとってなくてはならないものです。学校で演劇や音楽などの公演やワークショップが実施されることもあります。地域の文化・教育政策に左右されます。地域の子どもたちに豊かな芸術体験の機会をつくるには？沖縄県内で演劇、音楽それぞれの分野で活動しているゲストも交え、現在の取組や課題からこれからの可能性を考えましょう。

**日時：7月28日(金) 17:00-18:30 会場：那覇市IT創造館 [MAP 2](#)**

**講師：太田あきら** (アシテジ日本センター理事) 1996年東京演劇アンサンブル(TEE)入団。以後、ほとんどの作品の制作にかかわる。日本児童・青少年演劇劇団協同組合(児演協)の人材育成担当として、多くの講座・ワークショップを担当している。これまで五大陸20ヶ国を超える国々からの講座・ワークショップを開催。2004年文化庁在外研修員としてスウェーデン・ウナリクスへ短期留学。現在、日韓演劇交流センター事務局長、児演協副代表理事。

**ゲスト：渡久地 圭** (ビューローダンケ代表／フルート奏者)、**喜舎場 梓** (TEAM SPOT JUMBLEマネージャー)

**お問い合わせ** 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 [芸団協] げいだんきょう  
Tel: 03-5353-6600 (平日 10時～18時)

Eメール: [okinawa@geidankyo.or.jp](mailto:okinawa@geidankyo.or.jp)  
<http://www.geidankyo.or.jp/okinawa/>

**申し込み方法** 下記のフォームに必要事項を明記の上、Fax、Eメールいずれかの方法でお申し込みください。

<b>申し込みフォーム Fax:03-5353-6614 Eメール:okinawa@geidankyo.or.jp</b>			
フリガナ		所属 (団体・館名)	
氏名		担当職務	
住所	〒		
Tel		Fax	
E-mail			
希望の回に ☑をしてください	<input type="checkbox"/> 講座 1 (6/1)	<input type="checkbox"/> 講座 2 (6/2)	<input type="checkbox"/> 講座 3 (6/15)
	<input type="checkbox"/> 講座 5 (7/3)	<input type="checkbox"/> 講座 6 (7/4)	<input type="checkbox"/> 講座 7 (7/11)
	<input type="checkbox"/> 講座 9 (7/28)	<input type="checkbox"/> 講座 10 (7/28)	<input type="checkbox"/> 講座 4 (6/26)
			<input type="checkbox"/> 講座 8 (7/12)

※複数人の場合は、申込用紙を複製してお一人ずつお申し込みください。メールで申込みの場合は、各人の担当職務、参加希望の講座番号がわかるように明記してください。  
※会場の都合上、申込み多数によりご希望に添えない場合はその旨ご連絡いたします。 ※当日は、写真撮影、録音、録画等を行います。 ※頂戴した個人情報をもとに、氏名・所属先を明記した受講者リストを作成いたします。 ※頂戴した個人情報は、「沖縄県アーツマネージャー育成事業」に関連するご案内等に使用いたします。

## 沖縄県アーツマネージャー育成事業とは

沖縄では、県内に存在する多様で豊かな文化芸術資源を活用した文化芸術活動をさらに活発にし、文化産業を創出し、観光産業にも寄与することが課題となっています。この課題に対する施策のひとつとして、平成25年度より、県内の文化芸術活動を運営面から支える人材の育成に県事業として取り組んでいます。

この事業は、アーツマネジメントの基本的な考え方、事業企画から実施までの過程や要素を体系的に学ぶ「アーツマネジメント連続講座」と、県内外の文化施設や芸術団体等で実際の研修を行う「アーツマネジメント研修派遣」で構成されます。

これまでの取組や詳細は、本事業ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.geidankyo.or.jp/okinawa/>

## ACCESS



### 沖縄産業支援センター

那覇市字小禄1831-1 Tel 098-859-6234



### 那覇市IT創造館

那覇市銘苅2-3-6